「金持ちゾウさん、貧乏ゾウさん」



著者：本田 健
出版：ＰＨＰ文庫
発行：2014 年 6 月 27 日

「お金と幸せ」や「ライフワーク」をテーマに掲げ、多くの著作で読者に生き方を考えさせてきた著者による作品である。以前話題になった『あなたのお金はどこに消えた？』を改題された作品で、我々の社会で起こりうる金融に関わる事例をゾウの世界に置き換えて童話風に記述されており、大変読みやすい。また登場人物や国名を実在するものにうまくもじってあるところには面白さも感じる。

話の内容は、炭鉱で栄えた村に、投資話が舞い降り、村全体が浮かれ気分となり仕事に集中しなくなるというもの。第１章同窓会、第２章ヘッジホントがやってきた、第３章アルーゾのお金の授業、第４章終わりのはじまり、第５章トルーゾを探せ！、第６章お金はどこに消えた？、最後に解説これからお金とどうつきあいますか？と題され、４つのパターンの登場人物を自分に置き換えて自分自身を考えさせる。

私の印象に残ったところは、第３章にあるアルーゾによる子ども達に対する「お金の授業」である。お金をテーマにして行われるが、すべて子ども達の疑問・質問から展開されるというもの。考えから答えまですべて子ども達だけで導き出す。そこで諭すのは、『知恵』と『情熱』である。子ども達の秘めたる可能性やものごとに対する視線を見守るアルーゾは教育に携わる私にそのことを教え諭してくれたと感じています。

また『友情』や『愛情』、『働くこととは』というテーマも織り込まれていて心に響くことばかりである。また自信を持たせたり、不安にさせたりする『お金の持つ魔力』や『ピンチをチャンスに変えるものごとの見方』というものにも納得させられた。

最後にアルーゾが投げかけた次の問いを自分自身にも考えなおしてみたい。

お金とはなにか？
マネーゲームに巻き込まれるとどうなるのか？
金持ちになると幸せになれるのか？
貧乏ゾウさんは負け組みなのか？
仕事の本当の意味とは？
幸せとは何か？
お金に支配されずに生きる方法は？
お金より価値あるものはなにか？

起業教育研究会 企画委員
滋賀県立大津商業高等学校 商業科主任　柳垣 弘樹